

## 平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 シーエスアイ  
 コード番号 4320 URL <http://www.csiinc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松澤 好隆  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 011-271-4371

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	435	—	△56	—	△52	—	△63	—
20年9月期第1四半期	551	△13.5	△19	—	△19	—	△17	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	△1,710.21	—
20年9月期第1四半期	△470.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年9月期第1四半期	3,033	—	2,287	—	75.4	—	61,755.05	
20年9月期	3,185	—	2,377	—	74.6	—	64,194.16	

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 2,287百万円 20年9月期 2,377百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	0.00	—	500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,480	△14.5	△81	—	△85	—	△90	—	△2,430.00
通期	3,870	14.0	210	△22.5	204	△27.6	123	△22.0	3,321.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務情報等】「4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 37,037株 20年9月期 37,037株  
 ② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 —株 20年9月期 —株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 37,037株 20年9月期第1四半期 37,050株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した国際金融市場の混乱に加え、米国企業の破綻、株式・為替市場の大幅な変動等から、急速に企業業績や設備投資が悪化し、景気後退が鮮明になりました。

増加傾向を続けていたソフトウェア業界の売上高につきましても、当第1四半期には減少に転じ、市場競争の激化も続くなど、依然として厳しい状況となっております。

医療情報システム業界におきましては、年金手帳や健康保険証等の役割を果たす「社会保障カード（仮称）」や年金情報・健診情報等の閲覧・管理を担う「電子私書箱（仮称）」の検討が進められるなど、医療のIT化には引き続き高い関心が寄せられているものの、診療報酬改定による医業収支の圧迫、医師や看護師の不足、国民の混乱を招いた後期高齢者医療制度等、医療機関そして当業界は依然として厳しい環境にあります。

このような状況におきまして、当社は、主力製品である病院向け電子カルテシステム「MI・RA・Is/EX（ミライズイーエックス）」を中心に、その拡販並びに機能強化を推し進めてまいりました。また、次世代電子カルテシステム等の研究開発にも取り組んでまいりました。

子会社の㈱プロメディックにおきましては、ペット関連事業者向けの情報登録サービス「わんサーチ」の拡販に加え、収益改善を図るべく、固定費等の経費削減も引き続き進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高435百万円（前年同四半期比20.9%減）、営業損失56百万円（前年同四半期営業損失19百万円）、経常損失52百万円（前年同四半期経常損失19百万円）、四半期純損失63百万円（前年同四半期純損失17百万円）となりました。また、受注状況は、受注高896百万円（前年同四半期比44.6%増）、受注残高1,585百万円（前年同四半期比67.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

〔電子カルテシステム開発事業〕

電子カルテシステム開発につきましましては、中長期のIT進歩を見据えて、地域連携等の中核を担う次世代電子カルテシステムの研究開発やWebテクノロジーを活用したアプリケーションの本システムへの応用研究を推し進め、より良いシステムをユーザーに提供すべく取り組んでまいりました。

営業面におきましては、自社営業による直接販売と主要提携先との連携により、主力の病院向け電子カルテシステム「MI・RA・Is/EX」に加え、小規模病院向け電子カルテシステム「MI・RA・Is/CT（ミライズシーティー）」、精神科病院・療養型病院向けバージョン「MI・RA・Is/EX M version（ミライズイーエックス エムバージョン）」の販売に注力してまいりました。また、機能強化や受注物件に対する導入・カスタマイズ作業、導入後の病院・診療所に対する保守作業を行ってまいりました。

以上の結果、受注高822百万円（前年同四半期比82.0%増）、受注残高1,543百万円（前年同四半期比85.0%増）、売上高384百万円（前年同四半期比20.1%減）、営業利益75百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

〔受託システム開発事業〕

受託システム開発につきましましては、北海道大学病院、市立札幌病院などのオーダーリングシステム、医事システム、検査システム、輸血システムを始めとする医療情報システムなどについて、継続的にNECグループを中心とした受注があり開発作業を行ってまいりました。

以上の結果、受注高67百万円（前年同四半期比56.1%減）、受注残高42百万円（前年同四半期比61.8%減）、売上高45百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業利益3百万円（前年同四半期比65.7%減）となりました。

〔ペットサイト運営事業〕

ペットサイト運営におきましては、主力事業であるペット関連事業者向け情報登録サービス「わんサーチ」の拡販に注力するとともに、固定費等の経費削減を推し進め、早期の収益改善を図るべく取り組んでまいりました。

「わんサーチ」事業拡大のための施策といたしましては、登録された施設情報をWEB・紙・TV・モバイル等に提供し、施設情報の露出機会を向上させる戦略（メディアパートナー戦略）に基づくコンテンツ提供を推進してまいりました。また、パソコン・携帯電話・テレビ等の各種端末からの施設検索の利用促進とインターネット施設検索サービスの認知度向上を図り、有料登録施設の獲得と施設検索閲覧数の向上を目指し取り組んでまいりました。

営業面におきましては、主要地域においてペット関連施設への訪問営業に実績のある企業や、全国をターゲットとする電話営業に実績のある企業と提携し、販売代理店施策による営業活動をさらに強化してまいりました。

以上の結果、受注高6百万円（前年同四半期比53.8%減）、受注残高なし（前年同四半期受注残高なし）、売上高6百万円（前年同四半期比53.8%減）、営業損失44百万円（前年同四半期営業損失43百万円）となりました。

なお、上記文中における前年同四半期増減率（前年同四半期の金額）は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円減少しました。主として、現金及び預金の増加299百万円、仕掛品の増加158百万円、ソフトウェアの増加37百万円があったものの、売掛金の減少664百万円があったことによるものです。

負債は745百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少しました。主として、前受金の増加81百万円があったものの、買掛金の減少106百万円、長期借入金の減少33百万円があったことによるものです。

純資産は2,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円の減少となりました。主として、利益剰余金の配当による減少18百万円と四半期純損失63百万円の計上によるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,916百万円となり、前連結会計年度末から299百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は394百万円（前年同四半期は449百万円の増加）となりました。

主として売上債権の減少663百万円があったものの、たな卸資産の増加158百万円、仕入債務の減少106百万円があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は43百万円（前年同四半期は11百万円の使用）となりました。

主として有形固定資産の取得による支出4百万円と無形固定資産の取得による支出40百万円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は51百万円（前年同四半期は100百万円の使用）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が33百万円と配当金の支払18百万円があったことによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力事業である電子カルテシステム市場におきましては、厚生労働省の統合系医療情報システム普及に対する施策内容や診療報酬の改定が市場規模拡大の進捗に影響を与えることが予想されます。一方、医療のIT化に対する病院・診療所の関心は引き続き高いことから、今後も緩やかながらその普及は進んでいくものと思われま

す。当社グループは、このような環境のなか、電子カルテシステム開発事業の主力製品である病院向け電子カルテシステム「MI・RA・Is/EX」に加え、小規模病院向け電子カルテシステム「MI・RA・Is/CT」や精神科病院・療養型病院向けバージョン「MI・RA・Is/EX M version」の拡販を図ってまいります。また、次世代電子カルテシステムの研究開発やWebテクノロジーを活用したアプリケーションの本システムへの応用研究にも引き続き注力してまいります。

子会社の㈱プロメディックが運営するペットサイト運営事業につきましては、主力事業である「わんサーチ」の拡販に注力するとともに、固定費等の経費削減を推し進め、早期の収益改善を図るべく取り組んでまいります。

平成21年9月期の連結業績予想につきましては、電子カルテシステム開発事業の受注が順調に推移していることから、平成20年11月7日発表の「平成20年9月期決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失並びにセグメント情報に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることとなったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が同会計基準適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失並びにセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,920,865	1,621,684
受取手形及び売掛金	341,474	1,005,974
仕掛品	211,763	53,142
繰延税金資産	77,525	51,245
その他	112,055	32,544
貸倒引当金	△26,710	△30,356
流動資産合計	2,636,973	2,734,235
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,578	12,122
車両運搬具(純額)	1,815	—
器具備品(純額)	22,672	18,990
有形固定資産合計	36,066	31,112
無形固定資産		
商標権	2,425	1,588
ソフトウェア	82,548	44,553
ソフトウェア仮勘定	4,430	12,582
その他	216	216
無形固定資産合計	89,620	58,941
投資その他の資産		
投資有価証券	141,578	224,997
敷金及び保証金	86,819	83,792
繰延税金資産	25,515	31,383
その他	16,940	22,532
貸倒引当金	△360	△1,007
投資その他の資産合計	270,492	361,698
固定資産合計	396,179	451,752
資産合計	3,033,153	3,185,988

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	179,420	285,741
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	123,408	140,008
1年内償還予定の転換社債	42,000	42,000
未払法人税等	5,854	13,110
その他	152,213	65,170
流動負債合計	602,896	646,031
固定負債		
長期借入金	75,656	92,324
退職給付引当金	11,648	10,581
その他	55,730	59,492
固定負債合計	143,034	162,398
負債合計	745,931	808,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,155,807
利益剰余金	△591	81,267
株主資本合計	2,291,806	2,373,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,079	3,195
為替換算調整勘定	494	697
評価・換算差額等合計	△4,585	3,893
純資産合計	2,287,221	2,377,558
負債純資産合計	3,033,153	3,185,988

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	435,906
売上原価	302,490
売上総利益	133,416
販売費及び一般管理費	190,376
営業損失(△)	△56,960
営業外収益	
受取利息	728
受取配当金	677
保険解約返戻金	3,291
その他	1,289
営業外収益合計	5,985
営業外費用	
支払利息	1,385
その他	360
営業外費用合計	1,745
経常損失(△)	△52,720
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,933
特別利益合計	1,933
特別損失	
固定資産除却損	122
投資有価証券売却損	7,375
投資有価証券評価損	18,562
特別損失合計	26,060
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,847
法人税、住民税及び事業税	1,300
法人税等調整額	△14,806
法人税等合計	△13,506
四半期純損失(△)	△63,341

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,847
減価償却費	13,282
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,292
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,066
受取利息及び受取配当金	△1,405
支払利息	1,385
投資有価証券売却損益(△は益)	7,375
投資有価証券評価損益(△は益)	18,562
売上債権の増減額(△は増加)	663,881
たな卸資産の増減額(△は増加)	△158,723
仕入債務の増減額(△は減少)	△106,321
その他	37,762
小計	395,726
利息及び配当金の受取額	1,264
利息の支払額	△1,863
その他の収入	4,494
法人税等の支払額	△5,180
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>394,441</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△4,745
無形固定資産の取得による支出	△40,763
敷金及び保証金の差入による支出	△2,885
その他	4,938
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△43,455</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△33,268
リース債務の返済による支出	△25
配当金の支払額	△18,518
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△51,811</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	299,173
現金及び現金同等物の期首残高	1,617,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,916,450



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	電子カルテシステム開発事業(千円)	受託システム開発事業(千円)	ペットサイト運営事業(千円)	合計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
外部顧客に対する売上高	384,580	45,127	6,198	435,906	—	435,906
セグメント間の内部売上高	121	—	—	121	(121)	—
計	384,702	45,127	6,198	436,028	(121)	435,906
営業費用	309,072	41,524	50,780	401,378	91,489	492,867
営業利益又は営業損失(△)	75,629	3,603	△44,581	34,650	(91,611)	△56,960

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 電子カルテシステム開発事業 病院向け電子カルテシステム  
精神科病院・療養型病院向け電子カルテシステム  
小規模病院向け電子カルテシステム

- (2) 受託システム開発事業 医療機関及び各産業界向けシステム

- (3) ペットサイト運営事業 ペットの医療&情報サイト ・ 獣医療従事者向け支援サイトの運営

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用91,611千円の主なものは、当社グループの管理部門等における経費であります。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	551,015
II 売上原価	390,453
売上総利益	160,561
III 販売費及び一般管理費	180,257
営業損失	△19,696
IV 営業外収益	2,994
V 営業外費用	2,776
経常損失	△19,477
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失	△19,477
法人税、住民税及び事業税	1,531
法人税等調整額	△3,585
法人税等合計	△2,054
四半期純損失	△17,423

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△19,477
有形固定資産減価償却費	2,383
無形固定資産減価償却費	14,967
貸倒引当金の増加額	627
退職給付引当金の減少額	△230
受取利息及び受取配当金	△1,649
持分法による投資利益	△713
支払利息	2,430
株式交付費	345
その他営業外収益	△631
売上債権の減少額	574,421
たな卸資産の増加額	△62,743
仕入債務の減少額	△20,488
その他流動資産の増加額	△23,808
その他流動負債の減少額	△5,531
その他固定負債の減少額	△3,991
小計	455,910
利息及び配当金の受取額	1,510
利息の支払額	△2,386
その他営業外損益の受取額	286
法人税等の支払額	△5,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,463

	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,289
無形固定資産の取得による支出	△10,759
差入敷金保証金の差入による支出	△1,500
差入敷金保証金の返還による収入	751
定期預金等の預入による支出	△4,407
定期預金等の払戻による収入	4,403
投資事業組合分配金収入	2,400
その他	△865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,268
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△81,900
自己株式の取得による支出	△236
配当金の支払額	△18,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,662
IV 現金及び現金同等物の増加額	337,533
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,017,657
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,190

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

	電子カルテシステム開発事業 (千円)	受託システム開発事業 (千円)	ペットサイト運営事業 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
外部顧客に対する売上高	481,183	56,405	13,426	551,015	—	551,015
セグメント間の内部売上高	504	—	—	504	(504)	—
計	481,688	56,405	13,426	551,520	(504)	551,015
営業費用	400,539	45,895	56,432	502,867	67,843	570,711
営業利益又は営業損失(△)	81,148	10,510	△43,006	48,652	(68,348)	△19,696

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 電子カルテシステム開発事業 病院向け電子カルテシステム  
診療所向け電子カルテシステム  
動物病院向け電子カルテシステム

(2) 受託システム開発事業 医療機関及び各産業界向けシステム

(3) ペットサイト運営事業 ペットの医療&情報サイト・獣医療従事者向け支援サイトの運営

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用68,348千円の主なものは、当社グループの管理部門等における経費であります。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。